

「日本一の分校」を目指して！

新潟県立十日町高等学校松之山分校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は、昭和23年に県立安塚農業高等学校の定時制課程の分校として設置され、昭和43年度入学生から、全日制課程普通科となりました。平成27年度から、十日町高校へ移管となり、十日町高校松之山分校として新たなスタートを切りました。

生徒は、それぞれの自己実現を目指して、学習や部活動、学校行事などに一生懸命取り組んでいます。生徒会が掲げるスローガンは「日本一の分校を目指す」であり、教職員一同、こうした生徒たちの熱意、意欲に応えるべく、日々懸命に指導にあたっています。

私が学校経営において大切にしていきたいことは、以下の点です。

- 1 一人ひとりの生徒に応じたきめ細かな指導の実践
  - 小・中学校時代の不登校など、様々な課題を持つ生徒への新しい自分作りへのサポートを行う。
- 2 生徒が安心して過ごせる教育環境の保持
- 3 地域・保護者との連携、交流
  - 体育祭、松高祭(文化祭)などにおける地域の方々への公開と交流
- 4 松高だからこそ可能な、徹底した個別学習指導

上記方針の下、小規模校ならではの少人数指導、個別指導を実践していきたいと考えております。また、特色ある学校づくりを目指して、以下に示す取組を一層充実させていきます。

- 1 「学習部」の活動など、一人ひとりの生徒に応じた個別指導の充実
- 2 1泊2日の体験学習や「美人林」清掃等をとおした社会性の涵養
- 3 「松之山体験型講座」など、学校外部の人材活用による多様な学習機会の提供
- 4 「松之山分校だより」の地域への配付等をとおした「開かれた学校」づくり

地域を支える人材育成を目指し、教職員一同、学習指導、生徒指導、進路指導等に精一杯取り組み、「日本一面倒見の良い学校」を目指しております。同窓会をはじめとして、地域の皆様には、今後とも十日町高校松之山分校の取組について、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年4月

新潟県立十日町高等学校長  
加藤 徹男

